

## 第14回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会 報告

平成28年1月23日、今回は14期生の野口先生と秦先生が幹事担当で、アルカディア市ヶ谷にて開催。愛媛大学の最新の情報も頂き、年一度の総会で楽しい時間を過ごせました。



特別講演は、日本を代表する以下の先生方

愛媛大学耳鼻咽喉科 羽藤直人教授(11期生)  
「愛媛大学医学部と耳鼻咽喉科の現状50周年に向けて」

東京都健康長寿医療センター 心臓血管外科 西村隆部長(14期生)  
「重症心不全に対する挑戦 補助人工心臓を用いた治療戦略」

東京医科大学 健康増進スポーツ医学分野 浜岡隆文教授(11期生)

(文責 酒向正春)

## 第7回近畿支部総会 報告

第7回近畿支部総会が平成28年9月10日、大阪市のブリーゼプラザにて開催されました。

近畿支部は平成12年に同窓会最初の支部として発足しましたが紆余曲折あり、その後活動が停滞してしまい平成23年に再開、それからは毎年総会を開催してきております。そのため最古の支部ではありますが今年が第7回目というわけです。



今回は80名弱の参加があり、毎回会場探しに苦労するほど年々盛会となっております。これもひとえに役員、幹事のみなさんの並々ならぬご努力のおかげと感謝しております。

今回は、社会医療法人大道会 森ノ宮病院心臓血管外科部長の加藤 雅明先生に、「大動脈疾患のカテーテル治療」と題した記念講演をしていただきました。

先生は大動脈、特に胸部大動脈瘤、大動脈解離に対してステントを使用したカテーテル治療を世界に先駆けて開発、実践してこられました。ステントの自作に始まるいろいろな苦労も含め面白く、門外漢にも分かりやすくお話して頂き、大変勉強になりました。手術しなかった時代の惨憺たる成績からすると患者さんにとってもひとつの光明となる治療と感じました。

また、毎年1名の愛媛大学卒を取って愛大同窓生の研修を受け入れ、1年間でしっかり習得させ帰しているとのことで、同窓生のはしぐれとして本当に有難いことと感謝いたしております。

講演に熱が入り少々予定時間をオーバーしましたが、引き続き懇親会に移り、乾杯の後はそれぞれ懐かしい顔、クラブの先輩後輩、また診療上のいろいろな情報交換など、あちこちに話の輪が広がっていきました。

特に今回は、耳鼻咽喉科の柳原名誉教授のご参加をいただきました。先生の若々しくお元気な姿に、特に古参の同窓生は懐かしく感激しました。

先生には愛媛大学校友会(愛媛大学全体の同窓会)近畿支部の第3回総会(今回初めて出席された由)の報告を頂きましたが、校友会の存在そのものを誰も知らなかったという状況で、今後の課題として取り組んでいく予定です。同窓会本部にも取り組みをお願いする次第です。

近畿支部は、近畿一円に居住、在職の方で構成されています。毎年多数の卒業生が近畿地方に研修医として就職してきていますが、個人情報保護の壁は厚くなかなか実態の把握が難しいところです。今回連絡の無かった方、そして同窓の情報をお持ちの方、また他地域の方でも近畿支部っておもしろそうだとお感じになった方、是非ご連絡ください。お待ちしております。

(文責 1期卒業 朴 信正 park618424@sunny.ocn.ne.jp)

## 第13回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会 報告

皆さんお元気ですか。今年も愛媛大学医学部九州支部同窓会を7月23日ホテル日航福岡にて行いました。ご存じとは思いますが、本年4月14日と16日に熊本と大分で震度7の地震が相次いで発生しました。同窓会の中止も考えましたが、熊本や大分からの出席予定者もおられ、開催を決定させていただきました。



今回は、13名と少人数でしたが、皆元気で和気藹々とした雰囲気でした。

今回の講演は、『地域包括ケア時代の精神科病院の役割』の演題で山内勇人先生(14期生)にお願いしました。

その後、写真撮影、懇親会となり近況報告も交えながら無事同窓会は終了し、ホテル内で二次会を行い来年の再会を誓いました。

来年は平成29年7月22日(土) 18時30分よりホテル日航福岡にて開催予定です。

九州在住や九州に赴任された先生がおられましたら一人でも多く出席していただけるようご理解ご協力をお願いします。

愛大の各医局の先生で九州出身の方の参加も歓迎します。また研修医で九州勤務の方も参加よろしくをお願いします。

<事務局> すみい婦人科クリニック 澄井 敬成 (8期生) sumiic@k9.dion.ne.jp  
九州支部長 角 典洋 (2期生) sumi-clinic@mx2.tiki.ne.jp